



増子 義久 議員

## 道徳教科書と教育勅語への対応 教材として扱うことはない

**Q** 平成30年度から小学校への道徳教科書の導入が決まったが、選定に至るまでの手続きは。さらに、政府は教育勅語について「憲法や教育基本法に反しないようなかたちで、教材として用いることまでは否定されない」とする答弁書を閣議決定した。この教材化についての見解を伺う。

**A** 【教育長】 道徳教科書の採択は、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」に従って実施され、教育委員会において採択することになっており、使用前年度の8月31日までに終わらなければならない。「教育勅語」は現在、戦前の道徳性を育成するための歴史的な資料として掲載されており、教材化について、法令に基づき、学校の設置者に対して教科道徳における教材化を義務付けるものではないと認識しており、「教育勅語」は歴史資料などとして扱われることはあっても、道徳教育の教材として扱うことは一切考えていない。

## 図書館整備は

**Q** パブリックコメントへの応募数やその主な内容、立地場所の選定や開設時期など今後の青写真と



整備計画が予定されている花巻図書館(若葉町)

スケジュールを伺う。  
**A** 【市長】 パブリックコメントは4月24日から5月23日までの1カ月間実施し、意見書の提出者は9名、件数は38件であり、花巻市立図書館協議会委員への説明を経て、今後、新花巻図書館整備基本計画を策定して行くこととなる。その計画策定の中で施設の規模、建設場所について具体的に検討し、建設時期、場所によっては時間を要することもあり財政事情も考慮して進めていく。



藤井 幸介 議員

## 子ども読書活動の充実 「読書おもいで帳」を発行

**Q** 「花巻市子ども読書活動推進計画」に基づくこれまでの取り組みの成果と第3次計画における重点的な取り組みについて伺う。

**A** 【市長】 これまでの成果としてはブックスタートプラス事業を開催し、乳幼児と保護者に本を贈り、本に親しむことの大切さを伝えた。結果として図書館の読み聞かせ会などへの参加者が増加した。また、小中学生を対象に、本に親しみ図書館での調べ学習の方法を習得する「花巻市子ども読書クラブ」などを実施した。

学校図書館にも本を貸し出し、冊数は増加した。子どもの読書活動推進に大きな役割を果たす読書ボランティアを対象に「読書推進活動スキルアップ講座」も開催した。

第3次計画では市立図書館の中高生専用コーナー設置や、中高生向け図書の充実を図るとともに、高校生が推薦する図書を紹介して、順位を決める「ビブリオバトル」を開催し、読書意欲向上を図る。また、小学1年生に図書館の本を読んだ履歴を記録する「読書おもいで帳」を発行する。



7月から導入された「読書おもいで帳」

**障がい者就労支援**  
**Q** ふるさと納税返礼品として現在200品目ほどあるが、今後これに加えて、障がい者就労施設等での生産品を返礼品に加えて、社会福祉活動の推進につなげていくことについて伺う。

**A** 【市長】 障がい者就労施設生産品で返礼品としているのは「シールドル」、「ちやいクッキー」とラスクセット等がある。記念品登録は、ふるさと納税が本市の地場産品などを全国にPRする手段であり、毎月生産者からの申請を受け付け、採用基準を参照して審査選定する。障がい者就労施設の場合も個別に相談のうえ対応する。



櫻井 肇 議員

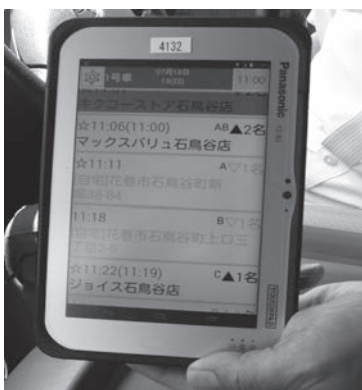
## 国保税引き下げの考えは 税率の在り方を検討

**Q** 平成28年度末における国民健康保険特別会計の財政調整基金残高は15億5500万円となっている。多すぎる基金残高への見解を伺う。また、財政調整基金を活用して国保税を引き下げる考えはないか伺う。

**A** 【市長】 国保財政調整基金は高額な医療費の発生等偶然の要因に基づく財政変動に対処するために必要な基金である。今後も予期しない支出増や収入減に対応するため、引き続き保有して国保の財政基盤の安定化に努める必要がある。平成29年度、国保税の引き下げの考えはないが、今後、岩手県から示される国保事業費納付金および標準保険料率をもとに、財政調整基金の活用を含めた中期的な財政見通しの精査を行い、平成30年度の賦課方法や算定方法など国保税率の在り方を検討していく。

## 予約乗り合いバスは

**Q** 石鳥谷地域における予約乗り合いバスの2月の新システム移行後の利用登録者数の推移、利用者の反応等について伺う。また、10月の東和地域における新システム移行の準備状況を伺う。



利用者の予約を受ける運行事業者の端末機

**A** 【市長】 本年2月1日から導入した「予約乗り合いバス」の登録者数は、新制度導入前の559人に加え新たに122人が登録し、6月8日現在で681人である。予約方法や利用時間の面で便利になり概ね好評である一方で、従前の制度と異なる側面に理解を得る周知をしてまいりたい。東和地域では住民説明会をこれまで3回実施しており、さらに8月から9月にかけて地域における説明会、運行事業者のテスト運行等の事前準備を経て、10月からの運行開始に備えたい。

【そのほかの質問】 市の財政運営について

## 子ども読書活動の充実 「読書おもいで帳」を発行

**Q** ふるさと納税返礼品として現在200品目ほどあるが、今後これに加えて、障がい者就労施設等での生産品を返礼品に加えて、社会福祉活動の推進につなげていくことについて伺う。

**A** 【市長】 障がい者就労施設生産品で返礼品としているのは「シールドル」、「ちやいクッキー」とラスクセット等がある。記念品登録は、ふるさと納税が本市の地場産品などを全国にPRする手段であり、毎月生産者からの申請を受け付け、採用基準を参照して審査選定する。障がい者就労施設の場合も個別に相談のうえ対応する。



照井 明子 議員

## 子どもの貧困対策は 調査の手法や把握する内容を検討

**Q** 子どもの相対的貧困率は16.3%、ひとり親世帯は54.6%と極めて高い。盛岡市では実態調査が実施された。市として「ひとり親世帯の子どもの生活実態や学習環境調査及び保護者の就労状況や家計管理等に関する調査」を実施する考えはないか。

**A** 【市長】 ひとり親家庭に関する調査は行っていないが、岩手県が平成27年3月に策定した「岩手県ひとり親家庭等自立促進計画」に基づいて、市の「イーハトーブ花巻子育て応援プラン」の施策体系に位置づけ、相談支援、経済的負担軽減、就業支援など支援内容の充実を図りながら事業を実施している。より効果的な事業を進めたいと考えているが、そのためにはひとり親世帯が求める支援ニーズを把握する必要があることから、ニーズ調査の手法や把握する内容について検討していく。

## 入学準備金の改正は

**Q** 国では単価等見直しがされ、た。実施状況及び入学準備金の入学前支給について伺う。

**A** 【教育長】 入学準備金の見直しについては、要保護児童生徒



新入学児童を待つランドセル

【そのほかの質問】 税の滞納整理についてマイナンバーの取り扱いについて保育の確保策について